●帯状疱疹の予防接種

■帯状疱疹の予防接種って聞いたことがありませんが！：

帯状疱疹の予防接種は新しく創られたものではなく、これまで水痘(水ぼうそう)の予防接種として使われてきた水痘ワクチンのことです。H28 年 4 月より水痘ワクチンが帯状疱疹にも適応になりました。

■予防接種の対象者は？：

50 才以上の方が対象者です。

■そもそもどうして帯状疱疹が発症するのでしょうか？：

水痘・帯状疱疹ウィルス（ＶＺウィルス）の初感染によって最初に水痘が発症します。この水痘が治っても、ＶＺウィルスは背髄感覚神経節や三叉神経節に潜伏感染（症状がないまま、じっと潜んでいる状態です）しています。潜伏感染したＶＺウィルスは症状が出ないまま、身体の中で活性化を繰り返しています。この細胞性免疫は水痘や帯状疱疹の患者さんとの接触によっても活性化されますが、長い年月の間にこの免疫活性が低下すると帯状疱疹が発症します。

■具体的にはどんな人が帯状疱疹にかかるのでしょうか？：

3 世代同居あるいはいつも生活や仕事の中に子どもがいる方は先ほどの免疫活性が保たれているので帯状疱疹は発症しにくいです。私たちのような医療機関では水ぼうそうや帯状疱疹の患者さんと接触する機会が多くなり免疫活性が保たれます。

したがって・・・

①子どもが独立して老夫婦のみの家庭

②50 才以上の一人住まい・・・

※これらの方々は帯状疱疹の発症リスクがあり、特に予防接種を受けることをお勧めします。

■いくらかかりますか？：

自費扱いになりますので、医療機関によって接種料は異なります。

当院での接種料は 7000 円です。水痘予防の水痘ワクチンは 2 回接種ですが、帯状疱疹は原則 1 回です。但し水痘ワクチンは免疫がつきにくいワクチンです。帯状疱疹の場合も 2 回接種することは可能です。

■効能・効果：

アメリカではすでに 2006 年より帯状疱疹の予防のための水痘ワクチンの予防接種が行われ①帯状疱疹の発生頻度②帯状疱疹後疼痛の発生③重症例の発生がそれぞれ 50%以上減少したと報告しています（国立感染症研究所 NIID 資料より引用)。

予防接種によって帯状疱疹を完全に予防することはできませんが、仮に**発症しても重症化せず、帯状疱疹後疼痛を軽減するのに役立ちます。**